

SDGsって、
何だろう？



ゴール17 パートナーシップで 目標を達成しよう



SDGsとは…
世界がさらに良くなるために、
2030年までに全世界の人々が
取り組むべき目標のことです。

今月の「SDGsって、何だろう？」は、17番目のゴール『パートナーシップで目標を達成しよう』です。

このゴールでは、「世界中のあらゆる人の協力でSDGsを達成すること」を目標としており、19個のターゲットが掲げられています。

「誰一人取り残さない」世界を実現するには、世界中の国や企業、団体、個人などさまざまな立場の人々が協力し合い、これまで紹介してきた16個のゴールを達成していくことが必要とされています。

協働のまちづくりを 推進するために…

松田町では、町民の皆さまから直接意見をいただき、町政運営に生かすため、地域座談会などを開催しております。また、民間企業などと包括連携協定を締結し、SDGsセミナーの開催や

『地酒ふえいすますく』の開発など、相互の連携と協働によって、さまざまな事業を推進しています。

小さな取り組みでも参加活動することで、より良いまちづくりにつながるため、できる範囲で結構ですので、積極的にまちづくりに関わっていただきたいと思えます。

「誰一人取り残さない」 ために…

令和2年5月号から連載が始まった「SDGsって、何だろう？」は、今回で17個すべてのゴールの紹介が終わりました。この連載記事を通して、「SDGs」が難しいことではなく、とても身近なことであると感じていただけたのではないのでしょうか。今からでもできることはたくさんあります！私たちが「自分事」として考え、小さなことから行動していきましょ！

参考：国際連合広報センター



松だるま

「新たな日常と、おせっかい」

早春の候、松田山の早咲き桜が町民の心を癒してくれる今日この頃、皆さまにおかれましてはますますご健勝のことと心からお慶び申し上げます。

2022年も早2カ月が過ぎましたが、全国的に新型コロナウイルスによる感染が拡大し、本町も2月の1カ月だけで100人を超える陽性者が報告されています。2月から3回目のワクチン接種が始まり、お待ち希望者の皆さまの接種についても、地元医療機関のご協力を賜り、迅速な対応を行ってまいりますので、引き続きご理解ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

さて、3月は、4月に新たな門出を迎える皆さまを少しの寂しさを覚えつつ、元氣いっぱい送り出すときでもあります。未来に向け新たな希望と自覚を持って羽ばたくすべての皆さまにエールを贈ります。ただ毎年のことですが、この時期は社会的な移動に伴い町内人口が減る時期でもあります。

松田町長 本山博幸

コロナ禍により、目先の対応について集中したばかりにコロナ後のまちづくりが進んでいないようでは人口減少の抑制ができず、消滅可能性都市からの脱却には、ほど遠い状況になります。このようなときでも、未来を見据えた「持続可能な魅力あるまちづくり」を進めて行かなければ、若い世代が松田町に戻らず、高齢者が安心して暮らせる町になりません。そうならないためにも町民と議会、行政とが一致団結して「今こそ協働のまちづくり」を推進していかなければなりません。「常に自分事」として「時におせっかい」を焼くことも必要でしょう。最近、近所付き合いをすることも難しくなっています。私は、「新たな日常」とは、「これまで失っていた日常を取り戻す」ことではないかと思うようになりました。松田町が「笑顔あふれる幸せのまち」になるよう取り組んでまいりますので、コロナ禍による国難と一緒に乗り切ってまいります！